

7月19日

テーマ：「主の憐れみの深さ」

聖書箇所：ヨナ書4章11節

◆今日のみことば

まして、わたしは、この大きな町ニネベを惜しまないでいられようか。そこには、右も左もわきまえない十二万以上の人間と、数多くの家畜とがいるのではないか。

ヨナ書4章11節

◆メッセージ



魚のお腹の中からはき出されたヨナさんは、神さまから命じられたとおりにニネベの人々に神さまのことばを伝えました。ニネベの人々は、ヨナさんのメッセージを聞いて神さまに立ち返りました。ニネベの王さまを初めとして、大人も子どももみんな。しかし、ヨナさんはニネベの人々が悔い改めて神さまに立ち返るのを見て、喜ぶことができませんでした。

神さまは、悪いことをした人であっても、自分の罪を神さまにうちあけて悔い改めるなら、ゆるしてくださるお方です。神さまは、ニネベの人々をゆるしてくださいました。ヨナさんはそのことを怒って、つぶやきました。神さまは、私たちが悪い人だなどと思う人であっても愛され、その人が神さまに立ち返ることを願っておられることを、ヨナさんに優しく語られました。それが今日のみことばです。神さまは、ヨナさんがニネベの人々に向けられた神さまの愛を知ることをご願われたのです。

この世のすべてのものをつくられた神さまは、つくられたすべてのものを愛しておられます。花も、虫も、動物たちも。そして何よりも人を愛しておられます。なぜなら、人間は神さまに似せてつくられた存在だからです。私たちがお父さん、お母さんに似ていることをお父さん、お母さんが喜び、愛しているように、神さまは神さまに似ている私たちに喜び、愛しておられます。しかし、多くの方が神さまのこころを知らず、神さまから離れて暮らしています。それで神さまのこころは、とても痛んでおられます。

今日、神さまは私たちにも、まだ神さまのことを知らずにいる人々に向けられた神さまの愛を知ってほしいと優しく語っておられます。その神さまのこころを覚えて、私たちも愛をもってまだ神さまのことを知らずにいる人々に会い、神さまのことを伝えましょう。

◆お祈り

「私たちが今日会える一人ひとりが神さまに立ち返りますように。神さまの愛を勇気をもって話すことができるように助けてください。」

(支援教師 咸東筈)